

2019年2月22日

株式会社NTTドコモ

AT&T

Bharti Airtel

China Mobile

China Telecom

Deutsche Telekom

KDDI株式会社

KT Corporation

Orange

SK Telecom

ソフトバンク株式会社

Telefonica

TIM

Verizon Communications Inc.

Cisco

富士通株式会社

HFR Networks, Inc.

Intel Corporation

Keysight Technologies, Inc.

Mavenir

日本電気株式会社

Nokia

Pivotal Commware

Radisys® Corporation

Samsung Electronics Co., Ltd.

SOLiD

VIAVI

0-RANフロントホール開発とマルチベンダー-RANの推進へ

～2019年以降の5G商用展開をめざす～

株式会社NTTドコモ、AT&T、Bharti Airtel、China Mobile、China Telecom、Deutsche Telekom、KDDI株式会社、KT Corporation、Orange、SK Telecom、ソフトバンク株式会社、Telefonica、TIM、Verizon Communications Inc.、Cisco、富士通株式会社、HFR Networks, Inc.、Intel Corporation、Keysight Technologies, Inc.、Mavenir、日本電気株式会社、Nokia、Pivotal Commware、Radisys® Corporation、Samsung Electronics Co., Ltd.、SOLiD、VIAVI は、0-RAN Alliance^{*1} のフロントホール仕様を採用、または採用を検討することを2019年2月22日(金曜)に発表しました。

各ベンダーは0-RANフロントホール仕様に準拠した製品の開発に着手し、異なるベンダー間の相互接続試験を開始、もしくは計画しており、通信事業者は2019年以降にそれら製品を

用いた試験を開始し、5Gの商用ネットワークに導入していきます。

O-RANフロントホール仕様により、リモート設置型基地局においてさまざまなベンダーの親局と無線子局を相互接続するマルチベンダー無線アクセスネットワーク(RAN)を実現できます。マルチベンダーRANでは、展開シナリオに応じて最適な基地局装置を活用し、柔軟にネットワークを構築することができます。

O-RANフロントホール仕様を活用したマルチベンダーRANのグローバルなエコシステムは、5G時代の無線アクセスネットワークにおけるイノベーションを創出し、増大し続けるパケットトラフィックと多種多様な産業及びサービス要求に応えることに寄与するものです。

※1 O-RAN Allianceは、「Open Radio Access Network Alliance」の略称であり、5Gをはじめとする次世代の無線アクセスネットワークをよりオープンでインテリジェントにすることを目的に活動している業界団体です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社NTTドコモ 無線アクセス開発部 無線方式担当 TEL: 046-840-3190

マルチベンダー-RAN概略図

